

〔薬局調剤〕

8 調剤行為の状況

薬局調剤の1件当たり点数は1,103.6点で、前年に比べ49.9点、4.7%増加している。

受付1回当たり点数は852.1点で、前年に比べ48.4点、6.0%増加している。調剤行為別にみると、「薬剤料」633.6点(構成割合 74.4%)が最も高く、次いで「調剤技術料」177.0点(同 20.8%)となっている。

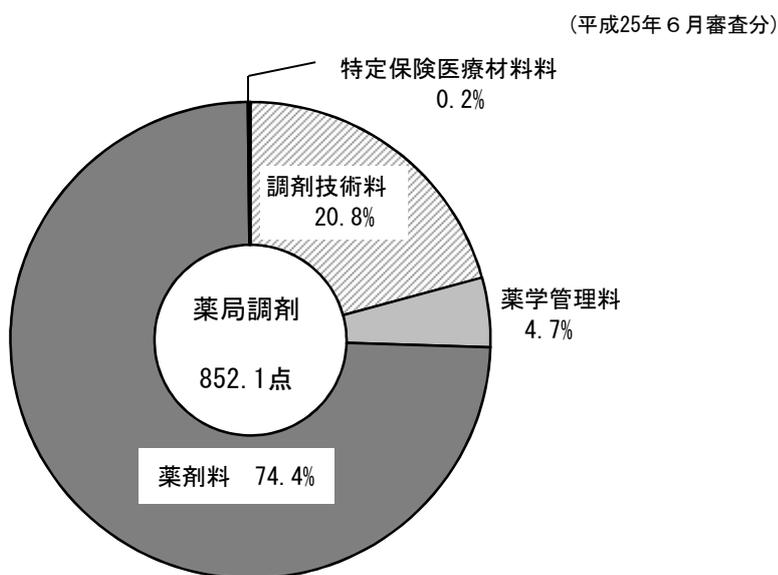
1件当たり受付回数は1.30回で、前年に比べ0.02回減少している。(表10、図13)

表10 調剤行為別にみた1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

(各年6月審査分)

調 剤 行 為	平成25年 (2013)	平成24年 (2012)	対 前 年	
			増減点数	増減率(%)
<b>1 件 当 た り 点 数</b>				
総 数	1 103.6	1 053.6	49.9	4.7
調 剤 技 術 料	229.2	226.9	2.3	1.0
薬 学 管 理 料	52.0	52.7	△ 0.7	△ 1.4
薬 剤 料	820.5	772.3	48.2	6.2
特定保険医療材料料	1.8	1.8	0.1	5.1
<b>受 付 1 回 当 た り 点 数</b>				
総 数	852.1	803.7	48.4	6.0
調 剤 技 術 料	177.0	173.1	3.9	2.3
薬 学 管 理 料	40.1	40.2	△ 0.1	△ 0.1
薬 剤 料	633.6	589.1	44.5	7.5
特定保険医療材料料	1.4	1.3	0.1	6.4
<b>1 件 当 た り 受 付 回 数</b>				
	1.30	1.31	△ 0.02	

図13 調剤行為別にみた受付1回当たり点数の構成割合



## 9 一般医療と後期医療別にみた調剤行為の状況

薬局調剤の1件当たり点数は、一般医療958.4点、後期医療1,505.7点となっている。

受付1回当たり点数は、一般医療762.0点、後期医療1,076.7点となっている。年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて受付1回当たり点数が高くなっている。

1件当たり受付回数は、一般医療1.26回、後期医療1.40回となっている。(表11、図14)

表11 一般医療 - 後期医療 - 年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

(平成25年6月審査分)

調剤行為	一般医療	後期医療	年齢階級				
			0~14歳	15~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
1件当たり点数							
総数	958.4	1 505.7	542.9	744.8	1 077.4	1 257.1	1 487.1
調剤技術料	206.1	293.2	193.4	176.2	210.3	233.6	291.6
薬学管理料	51.4	53.6	59.5	48.7	49.2	51.0	53.5
薬剤料	699.1	1 157.0	289.8	518.9	815.2	969.8	1 140.3
特定保険医療材料料	1.8	1.9	0.3	0.9	2.6	2.6	1.7
受付1回当たり点数							
総数	762.0	1 076.7	392.5	617.9	879.5	993.7	1 067.3
調剤技術料	163.9	209.7	139.8	146.2	171.7	184.7	209.3
薬学管理料	40.9	38.3	43.0	40.4	40.2	40.3	38.4
薬剤料	555.8	827.3	209.5	430.5	665.5	766.6	818.4
特定保険医療材料料	1.5	1.3	0.2	0.8	2.1	2.1	1.2
1件当たり受付回数							
	1.26	1.40	1.38	1.21	1.23	1.27	1.39

図14 年齢階級別にみた調剤行為別受付1回当たり点数

(平成25年6月審査分)

